

武蔵コーポ。賃貸管理へ参入

「投資家目線」のメニューで勝負



武蔵コーポレーション
(埼玉県さいたま市)
大谷義武社長 (33)

同社は、さいたま市、

だ。

川口市を中心としたエリアの投資用不動産の売買

「投資家向けの管理」

を専門に展開。昨年度の年商は約10億円。昨年末から同社が販売した物件

と、投資効率を重視した

武蔵コーポレーション

に限り管理の受託を開始。すでに200戸受託

リフォームの提案など。

現在、管理受託告知用

(埼玉県さいたま市)は、

一般物件の賃貸管理受託を開始。すでに200戸受託

「代理」として、できる

のホームページを作成中だ。

象を売買仲介に集を依頼する。「仲介手数料

積してきたノウハウを反

限り多くの仲介会社に募

映した「不動産投資家向

大し、賃貸管理サービス

「管理」を標榜し、顧客

と社長が話すように、採

の獲得に乗り出す。

算度外視で入居率向上を

1000戸の受託が目標

優先する。

「以前から、販売した物件の入居者募集は行ってきました。あらゆる仲介会社に情報を撒くのですぐに入居がまきます。管理物件も同様に扱う予定です。当社の収益の柱は売買仲介。だからこそできる入居者募集方法です」